

<2008年頭にあたって>

大学力を示す年

学校法人専修大学理事長 専修大学長 日高義博

社会に貢献する「卒業生」「研究」

あけましておめでとうございます。創立130年という記念すべき年も目前に迫り、記念事業も目白押しですが、活力ある2008年であることを期待し、新年のごあいさつを申し上げます。



18歳人口が減少し、本格的な大学全入時代の到来により、大学間の競争はますます激しいものになってきています。専修大学、石巻専修大学、専修大学北海道短期大学の3大学を擁する本学としては、現状を見据えた機動力のある大学改革に邁進し、二極化の分水嶺からの大きな飛躍を遂げなければなりません。そのためには、次のような点が重要だと考えます。

まず第1は、学生の質を保証しうる教育を行うことです。全入時代が到来し学生の基礎学力の低下が指摘されていますが、本学で学生を受け入れた以上は、大学教育を受けた学生として自信を持って社会に送り出せる人材を育成しなければなりません。しかも、本学の目指す「社会知性の開発」は、大学教育で培われた知力と人間力をもとにして、卒業生が社会に貢献し活躍することなくしては実現しえないものであり、大学教育が学生を大きく変身させ、学生の質の向上に結びついているものでなくてはなりません。大学は人間教育の場であり、学生と教職員との人間的な絆(きずな)が重要であり、かつ教育の現場では学問的な感動と共感がなくてはなりません。研究に裏付けられた教育でなければ、教育の現場に感動と共感を生みません。「学生を基本に据えた大学づくり」を諸策の骨格にしている本学としては、学生の質の保証のために教育、研究の両面において積極的な大学改革を展開していきたいと考えています。

第2は、本学からの知的発信をより積極的に行うことです。大学の使命として、教育、研究、社会・地域貢献が挙げられますが、大学からの知的発信は、本学の研究力を社会に示すとともに、研究成果をもって社会・地域に貢献することでもあります。知的発信の集積は、本学の大学力を形成することにもなります。現在、オープン・リサーチ・センター整備事業、公開講座、文化講演会など様々な知的発信がなされていますが、より充実したインパクトのある知的発信を積極的に展開し、専修大学の存在感を高め、活力ある姿を示していきたいと思えます。

第3は、健全な財政基盤を構築していくことです。私学である以上、何事を実現するにも財政基盤が安定していなければ夢に終わります。私学を取り巻く状況は厳しさを増す一方ですが、限られた財源を有効に活用するには、収支にメリハリをつけ、大学力の増強につながる財政的施策を講ずることが法人としての責務だと考えています。

専修大学では、今年11月には向ヶ丘遊園駅前にサテライトキャンパス(アトラスタワー2階)が完成します。新学部は、2009年4月開設を目標に、文学部の改編を通して設置したいと考えています。また、神田開講大学院新研究科の開設に向けて検討を行っております。石巻専修大学では、自動車工学センターが本格的に稼働し、地域との産官学連携による大学力の強化が図られようとしています。専修大学北海道短期大学では、緊急3カ年計画による改革が進められておりますが、地域と農業に根ざした大学として個性を發揮していくことを期待しております。

解決すべき課題は山積みです。しかし、本学では、難局打開のため教学と法人が一致協力していく態勢がすでに整っておりますので、育友会、校友会をはじめオール専修の力を結集するならば、必ずや130年に垂(なんな)んとする歴史と伝統に恥じない活力のある大学の道を歩いていけるものと信じています。今年、本学の大学力を示す上で極めて重要な1年です。教職員、学生、卒業生、そして専修大学に愛着を持っていただいている皆さん、専修大学の明日を切り開く気概をもって、共に尽力していただくことを強く願っております。

司法試験、公認会計士試験など48人の合格者祝賀会

難関突破、「おめでとう」

2007年度司法試験、新司法試験、公認会計士試験、国家公務員採用I種試験の合格者合同祝賀会が12月17日、神田キャンパスで開かれた。日高義博理事長・学長、ゼミ指導の教員ら80人が出席。難関を突破した合格者たちを祝福した。今年度の本学関係の合格者は、司法試験1人、新司法試験19人、公認会計士試験23人(在学生5人)、国家公務員採用I種試験5人(在学生1人)のあわせて48人。



▲日高理事長・学長から記念品を贈呈される合格者の皆さん

合格者を代表して在学生で公認会計士試験を突破した小野寺英さん(商3)が「受験勉強と大学生活との両立を心がけました。合格までの道のりはつらく苦しいものでしたが、家族や大学関係者の皆さんに支えられました」とあいさつした。

合格者名は07年10月号・12月号に既報。公認会計士試験合格者のうち新たに判明した4人と国家公務員採用I種試験合格者は以下のとおり。

●公認会計士試験

▽佐藤裕二さん(平18経済・埼玉県松山高) ▽野村亮さん(平14商・東京都本郷学園高) ▽仙名良一さん(平13経済・新潟県高田北城高・栗木安延ゼミ) ▽渡邊直さん(平12商・東京都小松川高)

●国家公務員採用I種(氏名の確認が取れた2名のみ掲載)

▽小野悟さん(経済4・栃木県足利高・望月宏ゼミ) ▽名雪加奈子さん(平14二部法・田高寛貴ゼミ、平16院法修・岩井宜子指導教授)

校友会

創立120周年記念祝賀会開く

専修大学校友会(甘竹秀雄会長)の創立120周年を記念して祝賀会が12月8日、東京・新宿の「京王プラザホテル」で開かれ、校友・招待者ら合わせて約370人が出席した。

中野郁雄専門部総務部長(商44経営)の総合司会で開会。甘竹秀雄会長のあいさつのあと、専修3大学を代表して日高義博理事長・学長が祝辞を述べた。

続く表彰では、功労者代表の三吉忠光氏・前山口県連合会長(商29商経)と、特別表彰のジェリー藤尾氏、原一平氏(商36商経)にそれぞれ賞状と記念品が贈呈された。

松田了育友会長の乾杯の発声で懇親会に移り、三曲研究会の演奏、体育会優秀団体・学生の紹介、アコーステック・ソウルユニットHAYABUSA(佐潟武氏＝平17商、坂室賢一氏＝平18経済)のステージ、原一平氏の漫談、ジェリー藤尾氏の歌、全学応援団のリーダー公開で盛り上がり、福引抽選会、校歌斉唱で閉会した。



あいさつする甘竹秀雄会長



▲体育会優秀団体・学生の紹介



▲三曲研究会の演奏



▲HAYABUSAのステージ



▲校歌斉唱で閉会



▲全学応援団チアリーディング部と吹奏楽部